



田中館愛橘 (1856-1952)

Tanakadate-A. 

写真：文化勲章受章時（昭和19年4月29日）題字：氏名サインとも田中館愛橘自署より

田中館愛橘会 会報 51 号

(たなかだてあいきつ) 岩手県二戸市出身の物理学者。日本の理科系諸学の基礎を築く。文化勲章。文化人切手。東大教授。貴族院議員。地球物理学の研究、度量衡法の確立、光学・電磁気学の単位の研究、航空学・気象学の普及などに功績。日本式ローマ字論者。

愛橘会のこれまでとこれから

田中館愛橘会会長 小保内岩吉

平成 25 年 (2013) は、田中館愛橘博士の生誕 157 年、没後 61 年めにあたります。また「田中館愛橘会の発足（昭和 61 年）」以来、顕彰活動は 28 年めを迎えます。これほどの長きに渡って愛橘会の活動を継続出来ました事は、ひとえに会員の皆様のお陰と心より感謝を申し上げます。

これまでの 27 年間には「田中館博士の著書や博士の伝記本の復刻」、博士ゆかりの文化人による「講演会の実施」、一万数千点に及ぶ「遺品資料調査研究と冊子の発行」、「記念碑の建立支援」や博士の留学先であった英国グラスゴーへの「高校生体験留学支援」など、様々な顕彰活動を行って参りました。そして、平成 11 年 (1999) には、悲願の「田中館愛橘記念科学館」が落成。平成 14 年 (2002)、博士の没後 50 年には「文化人切手」が総務省から発行されました。当会も行政を始め広く働きかけ、数々の記念事業の実施や支援をし、『二戸市に田中館博士あり』と改めて内外に紹介致しました。

平成 24 年 (2012) には「没後 60 年記念行事」と「役員改選」が行われました。

新役員は、会員の高齢化に伴うとみられる「会員の減少」や、近年の「田中館博士を知らない」、「名前は知っているが何をした人か答えられない」人々の増加傾向を問題と捉え、これからは『一層の顕彰活動』と『愛橘会の活性化』が『急務』との認識で一致しました。

私は最優先に実施すべき対策として、次の（左下）素案を掲げ、これに取り組むべく関係各位に諮っている所であります。

会員の皆様には「これからの愛橘会」を見据えた忌憚なきご意見を伺いながら改善に取り組んで参る所存です。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

* 愛橘博士顕彰の為に

- ① 博士の銅像建立の検討
- ② 講演活動等の積極的対応
- ③ 資料調査研究の継続と成果発表
- ④ インターネット活用による情報発信

* 愛橘会運営資金確保の為に

- ① 新規会員の勧誘と獲得
- ② 会報等への有料広告の導入
- ③ 資料その他の販売検討



第 28 回田中館愛橘会総会関連行事終わる

5月21日(火)二戸市橋場「祖霊社」において、第28回田中館愛橘会総会及び講演会(講師:慶應義塾大学教授ハンス・ヨアヒム・クナウプ氏)、献詠(合唱:金田一「歌の集い」)、資料調査研究発表(講師:菅原孝平氏)などの関連行事が行われました。

5月21日は田中館愛橘博士の61年目のご命日で、それまでとは一変した汗ばむほどの快晴となりました。午前9時半頃からは多くの会員が田中館博士のお墓参りに訪れました。総会直前には小保内岩吉会長や講演会講師のクナウプ氏がお墓参りを行いました。

午前10時、工藤武三副会長が司会を努め、國分巖士郎副会長の開会宣言により、第28回田中館愛橘会総会が開会しました。小保内岩吉会長の挨拶に続き、来賓である二戸市長からの祝辞(代読:沢典雄二戸市シビックセンター所長)の後、菅原孝平理事が議長に指名され議事に入りました。

第1号議案は「平成24年度事業報告並びに収支決算」について行われ事務局の事業報告後、監査結果報告、そして報告されたとおりの決算が承認されました(繰越金 66,226 円)。

続く第2号議案は「平成25年度事業計画並びに予算」について行われました。25年度は会員の減少等に伴い、前年度からは 22 万強の「縮小」となる、総額 353,226 円の予算が事務局より発表され、承認されました。

小保内岩吉会長はこうした厳しい現状に対し、全力をもって『新規会員の獲得に努める』ことを宣言し、現在積極的に勧誘を図っている事、会員各位にも協力を呼びかけました。また『運営資金確保』のため、会報への「有料広告の導入」や博士に関する「資料等



田中館博士のお墓に並ぶ
ハンス・ヨアヒム・クナウプ教授



挨拶をする小保内岩吉会長と三人の副会長

の販売検討」について積極的に取り組む方向も示しました。議事は滞りなく進行し、小保内道彦副会長による閉会の言葉で幕となりました。

また、慶應義塾大学教授ハンス・ヨアヒム・クナウプ氏の当会への深いご理解とご支援により、限られた予算にも関わらず、講演会が実現できた事が報告されました。

■和歌献詠

田中館愛橘博士の和歌が、金田一「歌の集い」の皆さんの合唱で三曲献詠されました。それぞれの歌には佐藤綾夫氏の解説があり歌を聴きつつ博士を偲びました。(佐藤綾夫氏作曲・指揮)



金田一「歌のつどい」の皆さん



ハンス・ヨアヒム・クナウプ氏



菅原孝平氏

講演「グローバル精神の先駆者としての田中館愛橘先生」

講師：慶應義塾大学教授 ハンス・ヨアヒム・クナウプ氏

午前 11 時、会場は入りきれぬほどの人々で溢れました。一般にも広く呼びかけた「田中館博士に関する講演会」でしたが、聴きに来てくれる人はいるのだろうかと思っていた事務局が、慌てて椅子を追加配置する嬉しい誤算となりました。クナウプ先生の講演は日本語で行われ、聴衆は熱心に聞き入りました。

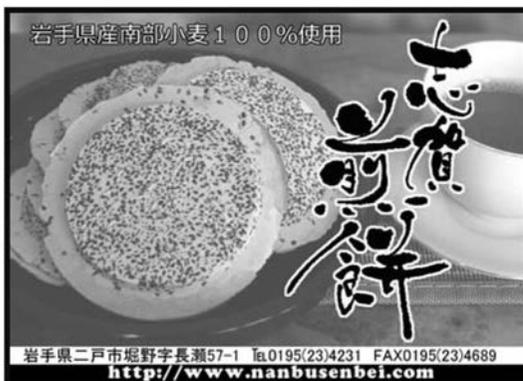
クナウプ先生は、田中館博士が「日本式ローマ字をどんな風に考え、どんな風にまとめていったのだろうか」と投げかけ、「日本式ローマ字は、古くから日本人が使っていた『音』を大切にしている。田中館博士は伝統を守りつつ国際化をはかり、グローバル化の潮流にのって行く事を考えていた」と説明しました。

更に「田中館博士は、単なる西洋崇拝者ではない。日本の文化や風習を守って行く為、日本式ローマ字を考案したものだ。この考え方は現代を生きる日本人にも通じる場所がある。田中館博士の功績は再評価されるべき」と強調されました。

クナウプ先生の研究は、田中館博士の懐の広さを教わったと共に、博士の評価に対する新たな視点の必要性をも示されたのではないのでしょうか。

■第一回資料調査研究報告

講演会の後は昼食と会員相互の懇親会でした。後半には愛橘会資料調査委員会の第一回報告会を行い、菅原孝平調査委員長が「田中館愛橘が作った『地震数え唄』と地震学黎明期の素描」を講演しました。博士は広く一般にも地震の備えを働きかけていたという興味深い話でした。



田中館博士の足跡を尋ねた中学生達

平成 25(2013) 年 2 月 13 日「二戸市中学生海外派遣研修報告会」が二戸市シビックセンターで行われました。
 田中館博士の留学先のグラスゴー大学で彼らが学んだ事は…。報告会からのレポートです(事務局中村誠)

二戸市の中学生 (10 名) と鳩岡矩雄教育長を団長とした一行 13 名は、1 月 6 日から 13 日まで海外研修を体験した。その目的の一つに、英国グラスゴー大学訪問があった。明治 21 年 (1888) 1 月、田中館はここに留学し、当時世界最高と言われた物理学者ケルビン卿 (=ウイリアム・トムソン) の薫陶を受ける。二年間学んだケルビンの影響は甚だしく田中館は大きく成長した。田中館は生涯ケルビン卿を尊敬し続け、渡英の度ウエストミンスター寺院を訪れケルビン卿の墓参りをしたという。その傍にニュートン、マクスウエル、ラザフォードも眠っている。

1 2 日、研修生一行はグラスゴー大学を訪問した。各所見学の後図書館に案内されると恭しく布団に載せられた書類が運ばれてきた。その大切な資料は、田中館が在学時に書いた書類やサイン、手紙などだった。目前で、英国の人が丁寧に、最大限の敬意をもって田中館資料を扱う事に中学生達は驚き、改めて博士の偉大さを痛感したという。

研修報告会では何人もの中学生がその感動を口にし、新たな決意を発表した。田中館から 1 2 5 年後の英国で研修生たちは田中館に会い、田中館に学んだのだろう。彼らは海外研修で数々の体験をし、大きく成長して帰ってきた。

(右の掲載写真は報告会より)



図書館に保管された博士の資料の前に



大切に保管
されていた
田中館資料



恩師ケルビン卿



グラスゴー大学で

全酒類食料品卸小売業

(株) サッポロビール・(株) 南部美人 特約店
 (株) ダイードリンク・(株) 大塚製薬

株式会社 **小岩商店**
 代表取締役 小保内岩吉

〒026-6101 二戸市福岡字五日町 3 5 番地
 TEL 0195-23-7711 FAX 0195-23-7710

真面目に造る。
 それしかでいい。

品質一筋

南部美人

株式会社 南部美人

〒026-6101 二戸市福岡字五日町 13
 TEL 0195-23-7711
 FAX 0195-23-7710
 http://www.nanbuhikari.jp
 E-mail:nanbuhikari@nanbuhikari.co.jp



富士と田中館愛橘

平成 25(2013) 年 6 月 22 日、「富士山」が、世界文化遺産に登録された。日本の象徴、日本人の心の故郷と言われる富士山だが、田中館と富士にまつわるエピソードを探してみた。

■左の写真の脇に「富士山頂上」と鉛筆で書かれているが年月不明。並んでいるのは一人娘の美稲さんと思われる。写真から察するに美稲さんは 10 代、とすると田中館

は 50 代である。当時の富士登山の様子と、田中館がいかに娘を大切にしていたかが伺える一枚だろう。

一方、右下の写真は日本初の特別急行列車「富士」の展望台に立つ田中館と美稲さんのようだ。富士は一等車と二等車しかない特別な列車。こちらも「東京駅」と記されるのみで年月不明。しかしこの列車が東京駅発着になるのは大正 3 年 12 月 20 日以降なので、少なくとも田中館は 60 歳過ぎとなり、美稲さんは二十代半ば。

当時欧州に行くには、特急「富士」で下関に行き、海を越え、シベリア鉄道に一週間乗らねばならず、最速でも二週間かかったという。

だが、田中館はかつて船ならば二ヶ月かかったのですとと楽だと喜んでいた。



■明治 13(1880)年田中館が大学 2 年の時、メンデンホールから重力測定法を教わる。

2 月に東京で重力を計測すると、比較のため 8 月に富士山頂の重力計測に向かった。大きく重い精密機械を嚴重な箱に入れ、剛力に運ばせた。ところが頂上に着くと箱の鍵が見つからず開けられない。ついにやむなく鋸で切って何とか測定をした。ところが鍵は最初からかかっていなかった事が判明し、大笑いとなった。

この事件が後々「しくじり博士」の異名となる「田中館のしくじりの始まり」とされている。弟子の中村清二は、鍵を忘れたのは助手であったと書き残している。

住まいと暮らしのことなら何でもおまかせ！

株式会社
かんぽん

本 社：岩手県二戸市堀野字長地75-4
TEL：0195(23)5111 FAX：0195(23)2407
代 理 取 扱 後 援 関 係
ホームセンター、リフォーム、建築資材、石油販売



介護センター
カシオペア

有限会社 コミュニティワークス

〒028-6105岩手県二戸市堀野字大川原毛92-9
TEL 1095-25-4878 FAX 0195-25-4889

田中館愛橋の生涯 『今やらねば』デーリー東北紙に連載中！



デーリー東北新聞社様の文化欄に「田中館博士の生涯 (全 20 回)」を取り上げて頂いております。

7 月 15 日現在、第 5 回目まで掲載中です。掲載日は『隔週の月曜日』ですが休刊日等の場合は順延となります。執筆は二戸歴史民俗資料館館長で理事の菅原孝平先生と事務局中村誠が分担致します。

次回は菅原先生の執筆で、7 月 29 日掲載予定です。

田中館博士の生涯を広く知って頂ける得難い機会と存じます。会員の皆様にも「今やらねば」をきっかけとして、田中館博士をますますご顕彰戴ければと存じます。よろしくお願い致します。

田中館愛橋博士のお話 出前講座致します！

田中館博士ってどんな人？、一体何をした人？、どうして文化勲章を貰えたの？など田中館博士に関する素朴な疑問に「ご指定場所まで出向いて」お答えする『出前講座』を「無料」でやらせて頂きます。講座時間の目安は「1時間程度」ですが、ご都合に応じ「10分以上から2時間以内」調整可能です。また、講演日時もご都合に従います。(夜でも可です ※21時まで)「人数は5名様以上」におまとめ頂き、「予定日の3週間前まで」に事務局にご連絡をお願い致します。(TEL 0195-25-5411)

肩のこらない愛橋先生のエピソードでも、きちんと知りたい博士の仕事や生涯でも、出来る限りご要望に合わせてお話させて頂きます。(対応予定者：中村誠) どうぞお気軽にお声をお掛け下さい。広くご紹介を頂ければ幸いに存じます。

事務局だより

51号より編集を拝命致しました中村誠です。未熟者で至らぬ所ばかりですが何とぞよろしくお願い致します。

今号から「企業広告」が掲載されています。この広告費のお陰で2ページ増を実現できました。ご協賛頂いた各企業様に感謝申し上げます。なお、新会報に違和感をお感じの会員様にはお詫び申し上げ、一層誌面の充実を努めたいと存じます。

インターネットでも公開中です。

<http://www.aikitu-kai.info/> (田中館愛橋会ホームページ)

※平成25年7月1日現在 田中館愛橋会 会員数 114名

※訃報です 故大森春雄氏 (平成 24 年 12 月)

愛橋会に多大な貢献を頂きました。心からお悔やみ申し上げます。

《会報発行について》 ※年一回 7月発行

《発行所》 田中館愛橋会 会長 小保内岩吉 / 編集者 中村誠

〒028-6103 岩手県二戸市石切所字荷渡 55

二戸市シビックセンター内

TEL 0195-25-5411 FAX 0195-23-3548

(振替口座) 02350-8-18841

《印刷所》沢倉印刷株式会社

〒028-6101 二戸市福岡字城ノ外 38 TEL 0195-23-3107

お二人の愛の誓いを、印象深く

ご婚礼 **ご予約承り中!!**

ご宿泊・各種パーティ・レストラン

二戸パークホテル

二戸駅よりバスで10分、タクシーで5分

〒028-6101 岩手県二戸市福岡字八幡下69-1

<http://www.ninohe-park.com> ☎ 0195-23-5151 (代)

オフィスネットワークのトータルサポートをめざす

三幸堂ビジネス

盛岡支店 TEL (019) 638-2220 代

FAX (019) 638-2580

八戸支店 TEL (0178) 29-1212 代

FAX (0178) 29-1316

事務機センター TEL (0195) 23-8181 代

FAX (0195) 23-8186

二戸本店 TEL (0195) 23-8182 代

FAX (0195) 23-8361